

全国に呼応「戦争法案廃案」

長野県 60カ所 4900人超



戦争法案ストップと訴えるデモ行進には、マスコットの「やだネコ」(右)も登場しました=8月30日、長野市

ネットで拡散 観光客も飛び入り

「全国100万人大行動」に呼応して、長野県では8月30日、県下60カ所の行動に4900人以上が参加して、「戦争法案廃案」と怒りの声をあげました。休日とあって観光客の飛び入り参加もありました。

午後2時から長野駅前で行われたデモは、主催者の予想を超え、600人以上が参加。デモ後のスタンディング時には、長野駅前を参加者が埋めつくすほどでした。

「戦争法案、絶対廃案」「戦争したがる総理はやめろ」「戦争したがる議員はいらない」などとコールしながら進み、沿道の人や観光客も飛び入り参加し、人波はぐんぐんふくれあがりました。

デモに先立って県歌「信濃の国」を合唱。浅間山ろくの米軍演習地化を撤回させたとかい(1955年)で「故郷守れ」のシンボルで歌われた曲です。行動は、憲法かえるのやだネット長野、信州レッドアクション、長野医療生協、僕らが主催者として知らなくて委員会の4団体および上田市、野井沢町の行動には藤野保史衆院議員が駆けつけ、参加者や観光客とリレートークに加わりました。

福井県内 4市で行動

福井県では、全国100万人行動が繰り広げられた8月30日、福井市で集会・パレードが、鯖江、越前、敦賀3市で直伝行動が取り組まれ、約2500人が心一つに戦争法案の廃案と安倍政権の打倒を訴えました。

「戦争する国づくり 興連絡会」が福井市中進しました。日本共産党の佐藤正雄県議、山田和雄県常任委員らも参加しました。

共産党ホームページで知って参加したという福井市の男性(61)は「デモ(参加)は生まれて初めて。いてもたってもいられない気持ちです。安倍政権は即刻退陣してほしい」と話しました。

米の戦争に加担イヤ

名古屋駅前ママら300人訴え

名古屋市中村区の名古屋駅前で8月30日、「安保関連法案に反対するママの会(愛知)」が呼びかけた行動に、00人以上が集まり、道行く人々に訴えました。

家は軍隊をつくる流れにしか見えず、米国の戦争に安易に加担するもの。こんな法案を通すわけにはいかない」と述べました。

7歳の息子と参加した徳川徳美さん(27)は「戦争と無関係だと思っていたけど、子どもはイヤ」と露かれた。

ママの会の宮崎里香さん(48)は「安保法

も戦争に行かせたくないと。4歳と1歳の子どもを連れて一家で参加した男性(36)は「平和が崩れるのは一瞬。いま反対しないと未来に申し訳ない。」

渡辺優子さん(40)は「子どもと一緒に戦争0枚近く貼られました。」



プラカードを持って通行人に訴える参加者ら=8月30日、名古屋市中村区



行進する参加者らと(2列目左2人目から)佐藤、山田両氏=8月30日、福井市